

# あいづわかまつ 文化財だより

受け継がれ引き継いでいく文化財の今を情報発信

発行  
会津若松市教育委員会  
編集  
会津若松市教育委員会文化課  
〒965-0871 会津若松市栄町5番17号  
☎0242-39-1305

第22号  
平成27年4月1日  
(2015)



## 会津若松市歴史資料センター (愛称:まなべこ)が一部開館しました



プレオープンテープカット



開館記念講演会



まなべこ  
会津工業高校  
福島県立博物館  
鶴ヶ城

### ～先人に憧れ、郷土に誇りを持つ学びの場～

- 施設名称 会津若松市歴史資料センター
- 愛称 まなべこ
- 所在地 会津若松市城東町2番3号
- 開館時間 午前9時から午後5時  
(最終入館:午後4時30分)
- 休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)  
年末年始
- 入館料 無料
- 問い合わせ先 0242-27-2705

本年秋にグランドオープンします

平成26年7月25日、歴史資料センター(愛称「まなべこ」)がプレオープンし、開館を記念したテープカットや記念講演会、ギャラリートークを行いました。まなべこでは、市民の皆さんをはじめ、たくさんの方々々に会津の歴史や文化に親しんでいただくとうと、歴史資料の展示や先人の紹介、郷土史の学習コーナーを設けています。

現在の展示は、江戸時代の人々が使用した会津暦・古銭などの品々をはじめ、会津藩の参勤交代の行列が描かれた絵図などを展示するとともに、会津を築いた人、会津出身で各分野において活躍した人など会津の先人を紹介しており、訪れる方々に会津の魅力を再発見していただける内容となっております。

今後、様々な視点からテーマを設けて展示を行うほか、学習講座なども開催します。小さいお子さんから大人の方まで、気軽に会津の歴史や文化にふれていただけるような企画展示をしていきますので、ぜひご来場ください。



名勝会津松平氏庭園

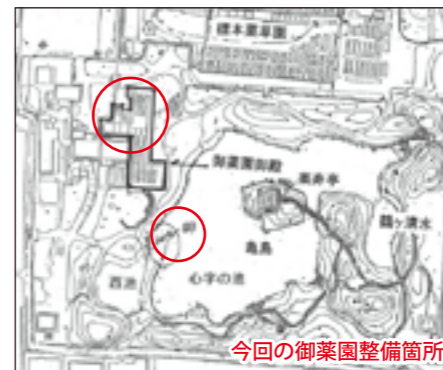
# 文化財を守る

文化財を次世代につなぐための取り組みです

国指定の名勝会津松平氏庭園の整備を行っています

心字の池の「岬」と呼ばれる部分の修復を行いました

明治時代以降に埋もれてしまった部分の土を取り除き、本来の玉石が敷かれた江戸時代の姿に戻しました。



今回の御薬園整備箇所

御茶屋御殿の修復工事が進んでいます

旧藩主松平容保の住まいとして明治期(明治15年)に増築された御茶屋御殿二階建屋部分の工事です。震災の影響と長年の使用により傷みが目立ちますが文化財に指定されている建物ですので、現在使われている部材をできるだけ使用しながら修復しています。明治期の建物の工事は平



修復前の岬部分



修復後の岬部分

成27年12月までとなります。貴重な文化財を後世に残すため、一つひとつ建物の状況を確認しながら作業を行っています。

平成28年度からは江戸時代に建築された部分の工事が予定されています。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



工事中の御茶屋御殿の前には工事内容をお伝えする説明板が設置されています

- 右) 取り外した建具は傷み具合を確認し、再度利用します
- 中) 土壁を落として建物の歪みを直していきます
- 左) 元の柱を傷めないよう、基礎の高さを調整していきます



### 火災防ぎょ訓練が行われました

昭和24年1月26日に法隆寺の金堂壁画が火災により焼損したことを教訓に、毎年1月26日を文化財防火デーとし、全国的に文化財の防火運動が実施され、今年で61回目になります。

本市でも文化財防火査察及び火災防ぎょ訓練を実施しました。平成27年度は、鶴ヶ城再建50周年を迎え、来場者が増えることが想定されるため、史跡若松城跡において、梯子消防車による

火災防ぎょ訓練が行われました



梯子車は天守閣の最上階まで届きます

る鶴ヶ城天守閣への放水訓練を行いました。

### 説明板も新しく

河東町藤倉にある市指定有形文化財皆鶴姫の碑群に設置されていた文化財説明板が、会津磐梯ライオンズクラブの寄付により板面も新しくなりました。

石碑の説明のほか皆鶴姫の伝説について、読みやすくなりました。



碑群を解説する説明板



職人さんが手作業で形を整えます



# 文化財に出会う

開発等により失われてしまう遺跡や重要な遺跡を調査し、記録を残していきます



鶴城小学校建設予定地から出土した金箔瓦

**金箔瓦が出土**  
**若松城郭内武家屋敷跡**  
 昨年度に継続して行った鶴城小学校改築に伴う発掘調査では、建物跡や井戸跡、溝跡などが見つかりました。この他に、当時使われていた遺

**郡山遺跡**  
**会津郡の役所跡を探る**  
 今から1100〜1300年前の奈良・平安時代の役所跡と考えられており、河東町郡山集落を中心に広がっています。平成26年度は集落の南端部を調査し、役所の時代の土器を出土しました。建物跡も見つかりましたが、建物の構成や周辺から出土した陶磁器から、江戸時代のものと考えられます。



遺構の確認作業を丁寧に行います

この地点は本来、今よりも高い地形で、後の時代に土地を削って家を建てたり、耕作に利用したものと考えられ、役所に係る施設の中心は、これより北の集落内に存在すると考えられます。

**弥生時代の遺跡を掘る**  
**社田A遺跡**  
 門田町堤沢地区で行われている発掘調査を行いました。この遺跡は、平成23年度に行われた調査で弥生時代の土器片が大量に出土していました。今回調査の結果、弥生時代の甕や壺などの大量の土器片のほか、鏝などの石器も出土しました。特に入れ子になっている甕など土器が出土した状況からは、調査場所の周辺が墓域であったことが考えられます。詳細は、今後研究していきます。



きれいな形で出土した甕と高杯

**史跡若松城跡**  
**三ノ丸を調査**  
 若松城跡の三ノ丸で発掘調査を行いました。調査では、土坑、井戸跡などの遺構が確認できました。中学生にも発掘調査を体験してもらおうことができました。



中学生による発掘体験

**蚕養窯の御用窯**  
**会津藩の御用窯**  
 蚕養窯は江戸時代末期に操業を始めた、会津藩の御用窯となりました。戊辰戦争により一時期途絶えましたが、その後復活し、昭和初期まで操業されていたと伝えられています。調査では、窯本体の位置や構造は確認できませんでしたが、窯の一部である壁やレンガの破片、溶けたり重くなったままの陶磁器の破片や窯で焼く際に使われた道具類が大量に出土しており、調査場所の周辺に窯があったことが確認できました。



住宅地内での発掘作業

**発掘調査現地説明会**  
**蚕養窯跡**  
 昨年6月8日、調査員による写真やパネルなどを利用した調査現場の説明のほか、実際に出土した陶磁器や窯の部材などの出土遺物などについて説明を行いました。約50名の方々に参加いただきました。昨年7月6日、調査員より、発掘調査現場や出土遺物について説明を行いました。中でも注目を浴びたのは、天目茶碗や織部・志野の向付といった茶道具の他に、説明会の1週間前に偶然見つかった金箔瓦でした。光に反射して輝きを放つその姿は、展示した遺物の中でも特に際立っていました。約100名の方々に参加いただきました。



鶴城小学校建設予定地



扇町土地区画整理地内

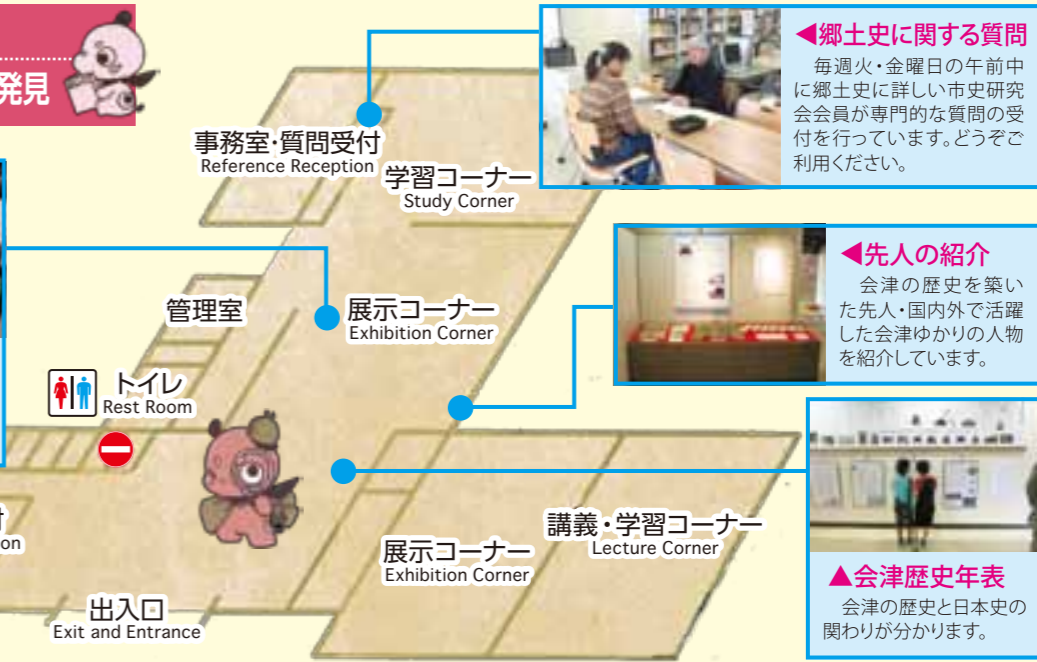
## 会津若松市歴史資料センター【まなべこ】の魅力を探る

魅力その1

館内をめぐって会津を再発見



**▲資料展示・体験**  
 絵図や文書・発掘出土品の展示、暮らしに関連した資料にもふれることができます。



**◀郷土史に関する質問**  
 毎週火・金曜日の午前中に郷土史に詳しい市史研究会会員が専門的な質問の受付を行っています。どうぞご利用ください。

**◀先人の紹介**  
 会津の歴史を築いた先人・国内外で活躍した会津ゆかりの人物を紹介しています。

**▲会津歴史年表**  
 会津の歴史と日本史の関わりが分かります。

**★お譲りください★**

まなべこでは、会津の昔を知ることができる古写真を集めています。お譲りいただける方の情報をお待ちしています。(電話:27-2705)



第3回 絵画で見る会津の民俗



第1回 お城の謎を解く

**魅力その2**  
**学習講座で歴史がわかる**  
 昨年8月と11月に、まなべこを起点とした学習講座「不思議発見！鶴ヶ城へ行こう」を開催しました。普段何気なく見ている鶴ヶ城の石垣。今から400年以上前に積まれたものも現存しています。積み方の解説などを通して、今までとは違った視点で散策していただきます。また、本年3月には会津の年中行事を描いた絵の鑑賞会と香り袋作りを行いました。今年も楽しく歴史や文化にふれることをモットーに学習講座やワークショップの予定です。たくさんのご参加をお待ちしています。

## 文化財を感じる

身近な文化財を皆さんに知っていただけるよう説明会や散策会を開催しています

**高瀬の大木(ケヤキ) 観察会**  
 上杉景勝が神指城を築こうとした土塁に今もなお堂々とした姿でたたずむ巨樹「高瀬の大木」。名木として国の天然記念物に指定されているケヤキの木です。昨年11月29日に現地を観察会を開催し、樹木医の先生から、ケヤキの魅力や守り育てる手法などの説明があり、楽しく観察していただきました。また、神指

城の築城と上杉景勝の都市計画と題した歴史解説など、改めて大切な地域の歴史にふれていただきました。ケヤキの周囲には見学者用の木道が設置されています。何百年とこの地で生き続けている高瀬の大木を間近でご覧ください。



樹木医による解説

**院内御廟歴史散策会**  
 院内御廟は、会津藩主松平家の2代から9代までの藩主とその家族が眠る墓所で、国の史跡に指定されています。今回で6回目となった散策会は昨年11月16日に開催し、市内外から100名以上の方々に参加いただきました。参加者の皆さんには、秋の風情を見せる御廟の森を歩きながら、各所での解説に熱心に耳を傾けていただき、会津の歴史を楽しんでいただきました。市では、案内解説板や解説パンフレットボックス、ベン



解説に耳を傾けます



御廟入口に設置の案内解説板とパンフレットボックス

チなどを設置し、見学しやすい環境整備に努めています。